

白銅株式会社(7637)

2026年3月期第1四半期 決算説明資料

2025年8月8日

目次

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. 2026年3月期第1四半期 決算内容 | P.2 |
| 2. 2026年3月期 業績予想 | P.16 |
| 3. 重点戦略の実施状況 | P.19 |

1. 2026年3月期第1四半期 決算内容

決算ハイライト

売上高

17,059百万円
(前年同四半期比+8.3%)

売上総利益

2,373百万円
(前年同四半期比△11.3%)

経常利益

475百万円
(前年同四半期比△52.3%)

2026年3月期第1四半期サマリ

<売上高>

- ・半導体製造装置業界の需要低迷により半導体製造装置業界向けの販売量が大幅に減少したものの、商品単価の上昇、ならびに官需向けを中心に航空・宇宙業界向けの販売量が増加し、売上高は前年同四半期比8.3%増収。
- ・海外においては、タイ・北米セグメントで売上高が増加。中国は景気減速等の影響により減収。

<売上総利益>

- ・半導体製造装置業界向けの需要低迷により粗利益率の高い標準在庫品の販売量が減少したこと、単位当たりの粗利益額の減少、ならびに工場の新設、増床に伴う支払地代家賃の増加など製造原価の固定費率の上昇により、前年同四半期比11.3%減益。

<経常利益>

- ・売上総利益の減少、および運賃単価の上昇等により前年同四半期比△52.3%減益。

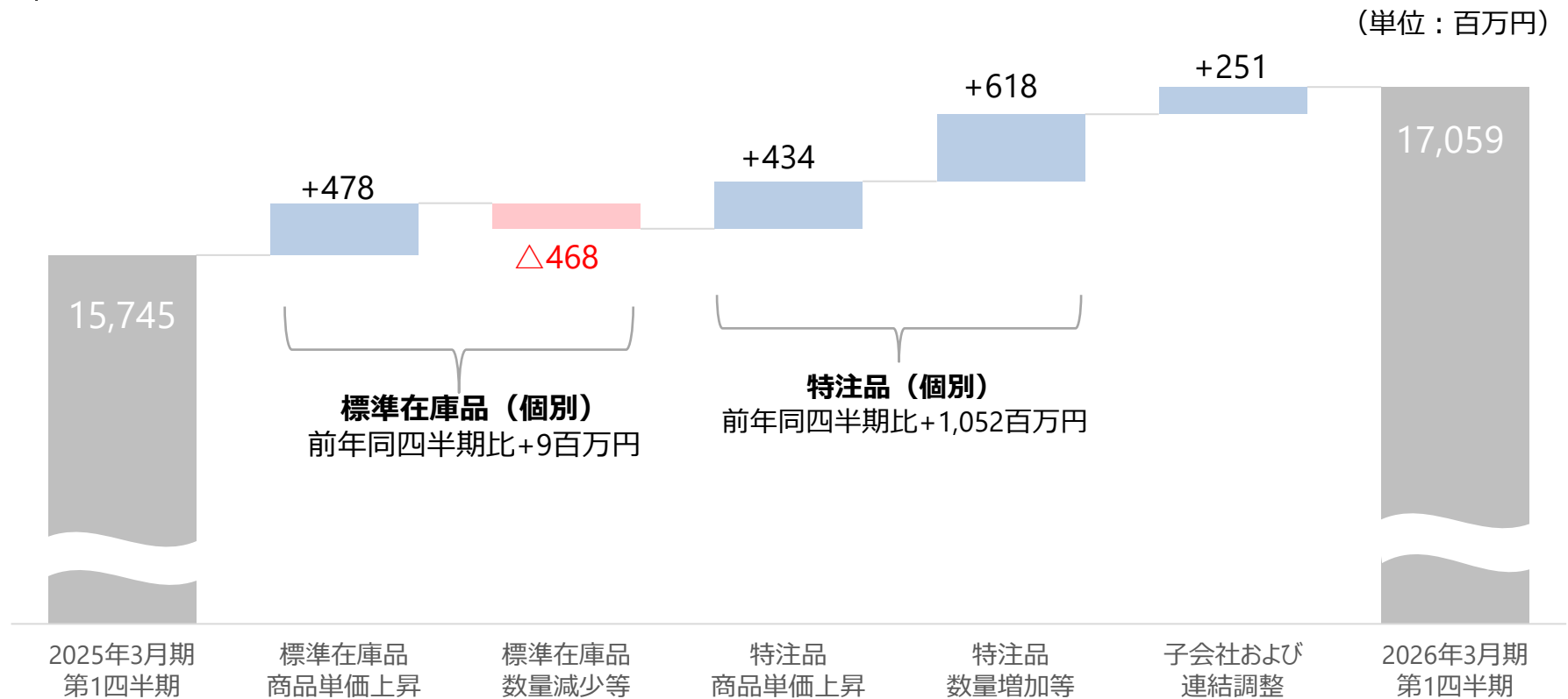
連結損益計算書（PL）サマリ

（単位：百万円）

	2025年3月期 第1四半期	売上高 比率	2026年3月期 第1四半期	売上高 比率	増減率	増減額
売上高	15,745	-	17,059	-	8.3%	+1,313
標準在庫品	9,497	60.3%	9,521	55.8%	0.3%	+24
特注品	6,248	39.7%	7,537	44.2%	20.6%	+1,289
売上総利益	2,677	17.0%	2,373	13.9%	△11.3%	△303
営業利益	868	5.5%	385	2.3%	△55.6%	△483
経常利益	996	6.3%	475	2.8%	△52.3%	△521
棚卸資産影響額 （△は損）	43	0.3%	107	0.6%	-	+63
経常利益 （棚卸資産影響額を除く）	952	6.0%	367	2.2%	△61.4%	△584
親会社株主に帰属する 四半期純利益	688	4.4%	290	1.7%	△57.8%	△397

売上高の前年同四半期比差異要因

- 白銅個別の標準在庫品は、販売重量が減少したものの、商品単価の上昇により前年同四半期比9百万円の増収。
- 一方、白銅個別の特注品は商品単価上昇に加え販売数量も増加し、前年同四半期比1,052百万円の増収。



前年同四半期比 白銅個別標準在庫品 販売重量：△4.2% 商品単価：+5.3%

品種別売上高

- アルミニウム・ステンレスは単価上昇の影響および、北米の売上高増加等により前年同四半期比増収。
- チタン等を含むその他は販売量増加により前年同四半期比増収。
- 伸銅は原材料価格の下落により前年同四半期比減収となった。

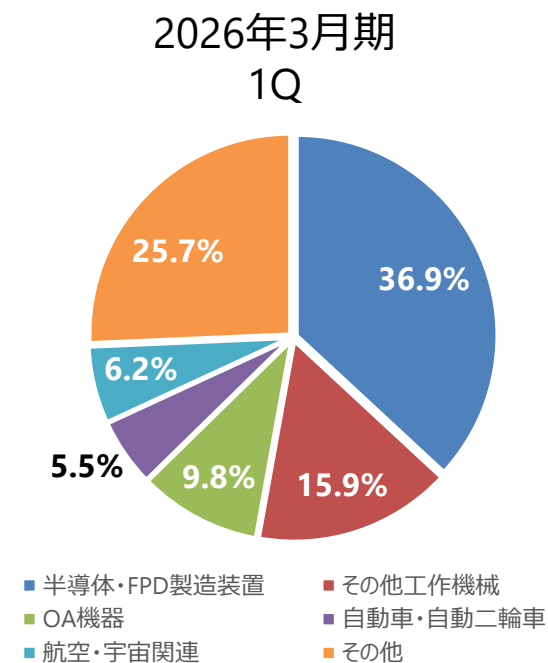
(単位：百万円)

	2025年 3月期				2026年 3月期 1Q	前年 1Q期間比
	1Q	2Q	3Q	4Q		
連結売上高	15,745	16,742	17,665	16,256	17,059	+8.3%
アルミニウム	9,363	10,449	10,984	10,017	10,455	+11.7%
伸銅	2,442	2,312	2,425	2,321	2,345	△4.0%
ステンレス	3,061	3,122	3,347	3,073	3,317	+8.4%
その他	878	857	908	843	939	+6.9%

業界別売上高構成比率（国内）

- 航空・宇宙関連業界は民間機需要の持続的回復や官需向けの好調な推移により前年同四半期比大幅増収。
- 半導体・FPD製造装置業界は、売上高は増加したものの、売上高構成比率は減少。

	2025年3月期					2026年 3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q
半導体・FPD 製造装置	37.3%	42.2%	43.0%	39.4%	40.6%	36.9%
その他工作機械	17.8%	15.6%	14.9%	15.8%	16.0%	15.9%
OA機器	10.3%	9.4%	8.7%	9.3%	9.4%	9.8%
自動車・自動二輪車	5.1%	5.1%	5.6%	5.7%	5.4%	5.5%
航空・宇宙関連	4.3%	4.3%	4.3%	5.2%	4.5%	6.2%
その他	25.2%	23.3%	23.6%	24.6%	24.1%	25.7%



セグメント別業績

- ・ 北米では、設備投資停滞等による景気低迷および為替差損の影響で109百万円の経常損失。
- ・ 中国は、売上高は減少したものの、仕入価格の減少や人件費等販管費の減少により、前年同四半期比で営業利益、経常利益ともに増益。
- ・ その他セグメント（タイ）はタイ国内景気の影響もあり経常利益は前年同四半期比で微減。

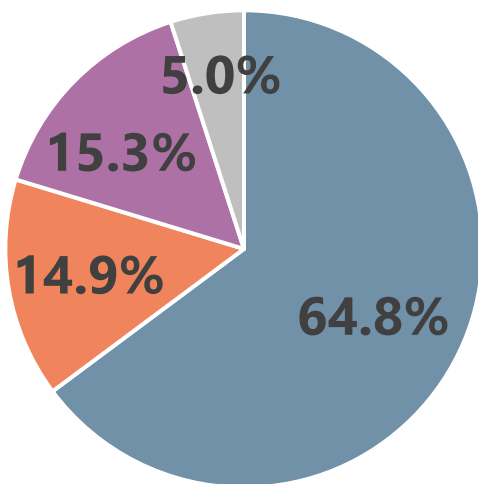
（単位：百万円）

セグメント		2025年 3月期 第1四半期				2026年 3月期 第1四半期			
		売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 四半期純損益	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 四半期純損益
	日本	13,490	855	909	613	14,604	388	532	358
	北米	1,296	△31	32	31	1,611	△51	△109	△109
	中国	559	△5	3	2	423	0	4	3
	その他	399	50	51	41	418	47	47	38

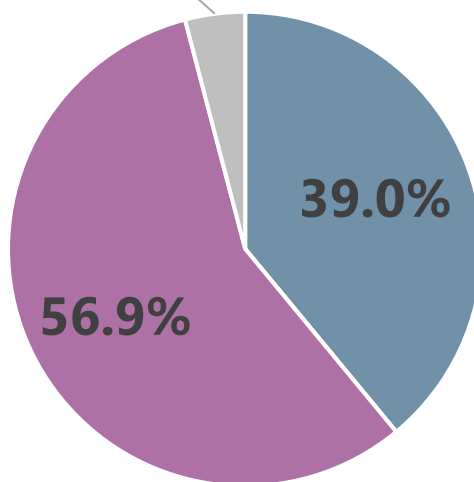
2026年3月期 第1四半期 セグメント別 品種売上高比率

- 【日本】半導体製造装置業界向けの販売比率が大きい影響でアルミニウムが大きな比率を占める。なお、伸銅・ステンレスの売上高比率が同等となっている。
- 【北米】住宅建設関係をメインの販売業界としているため、ステンレスの比率が大きい。
- 【中国】半導体製造装置業界向けの販売がメインとなるため、アルミニウム比率が高い。一方で、金型・自動車業界向けの特殊鋼含むその他品種の比率が大きくなっている。
- 【その他(タイ)】金型・自動車業界向けの伸銅が大きな比率を占めている。

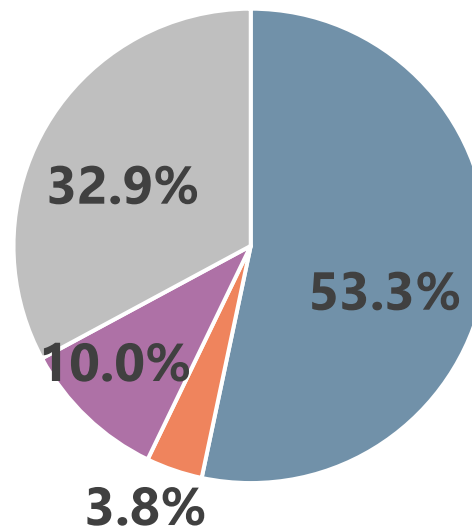
【日本】



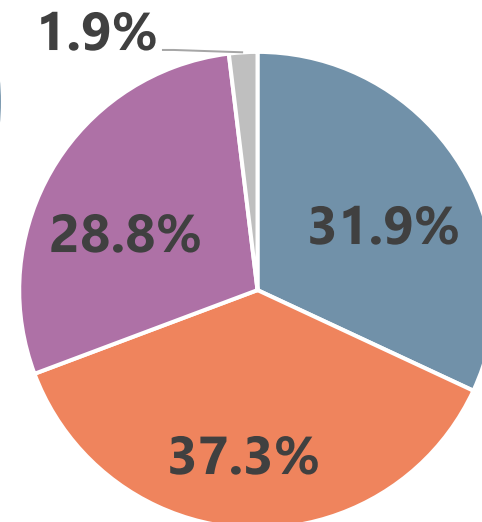
【北米】



【中国】

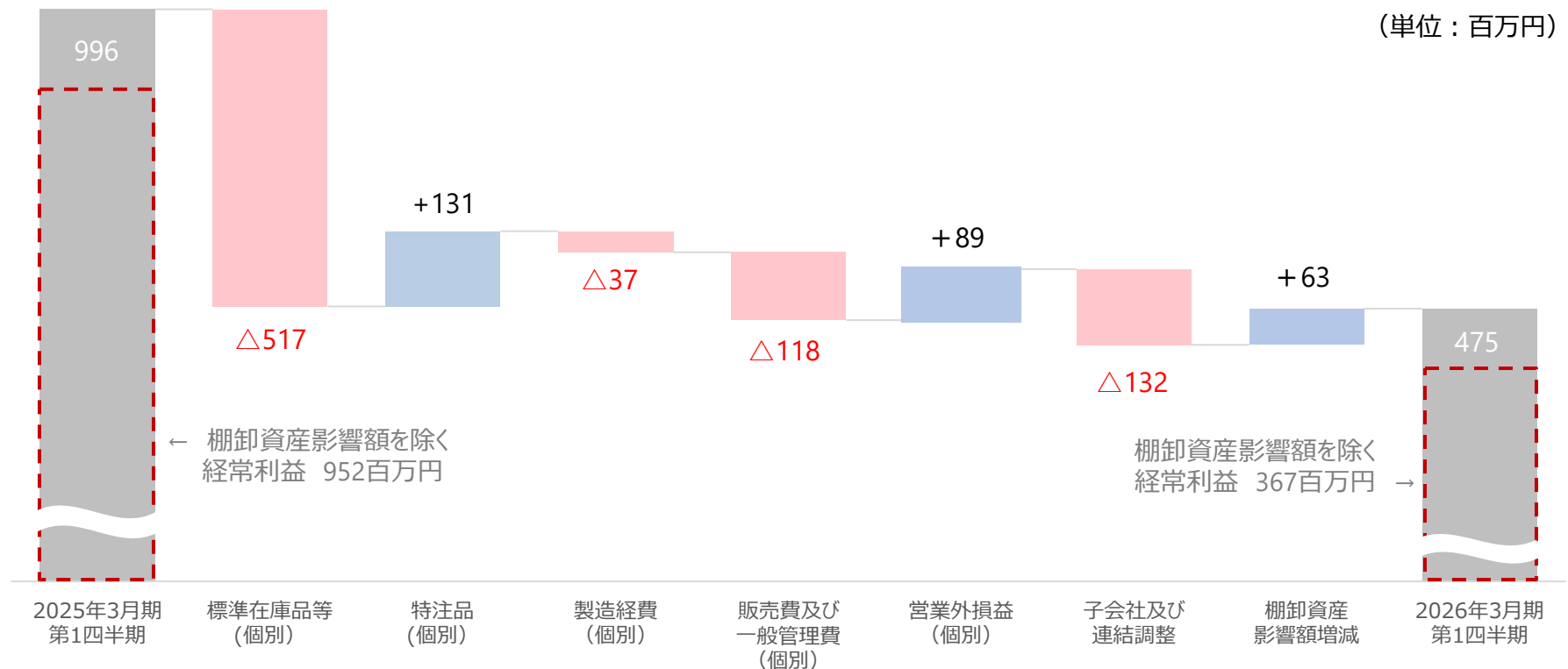


【その他(タイ)】



経常利益の前年同四半期比差異要因

- 白銅個別の標準在庫品販売数量減少や、製造経費、運賃、人件費等の各種コスト上昇の影響により、前年同四半期比で減益となった。



連結貸借対照表 (BS)

- 法人税等納税および配当金の支払いにより現預金は減少、売上高増加に伴い受取手形及び売掛金が増加。

(単位：百万円)

資産の部	2025年3月末	構成比率	2025年6月末	構成比率	増減
流動資産	35,028	78.3%	33,445	77.4%	△1,583
現金及び預金	5,473	12.2%	3,685	8.5%	△1,788
受取手形及び売掛金 (含 電子記録債権)	16,833	37.6%	17,122	39.6%	+288
棚卸資産	12,522	28.0%	12,444	28.8%	△77
その他流動資産	199	0.4%	192	0.4%	△6
固定資産	9,716	21.7%	9,766	22.6%	+50
有形固定資産	6,404	14.3%	6,277	14.5%	△127
無形固定資産	1,470	3.3%	1,381	3.2%	△88
投資その他の資産	1,841	4.1%	2,107	4.9%	+265
資産合計	44,745	100.0%	43,212	100.0%	△1,532
負債及び純資産の部	2025年3月末	構成比率	2025年6月末	構成比率	増減
流動負債	20,919	46.8%	19,887	46.0%	△1,032
買掛金 (含 電子記録債務)	18,598	41.6%	17,649	40.8%	△949
未払費用	888	2.0%	1,427	3.3%	+539
未払法人税等	547	1.2%	207	0.5%	△340
その他流動負債	885	2.0%	603	1.4%	△282
固定負債	70	0.2%	68	0.2%	△1
負債合計	20,990	46.9%	19,955	46.2%	△1,034
純資産	23,755	53.1%	23,256	53.8%	△498
負債純資産合計	44,745	100.0%	43,212	100.0%	△1,532

流動資産 △1,583百万円

- 法人税等納税および配当金の支払いによる現預金減少
- 売上高増加により受取手形及び売掛金が増加

固定資産 +50百万円

- 請負業務委託先企業への出資による投資その他の資産増加

流動負債 △1,032百万円

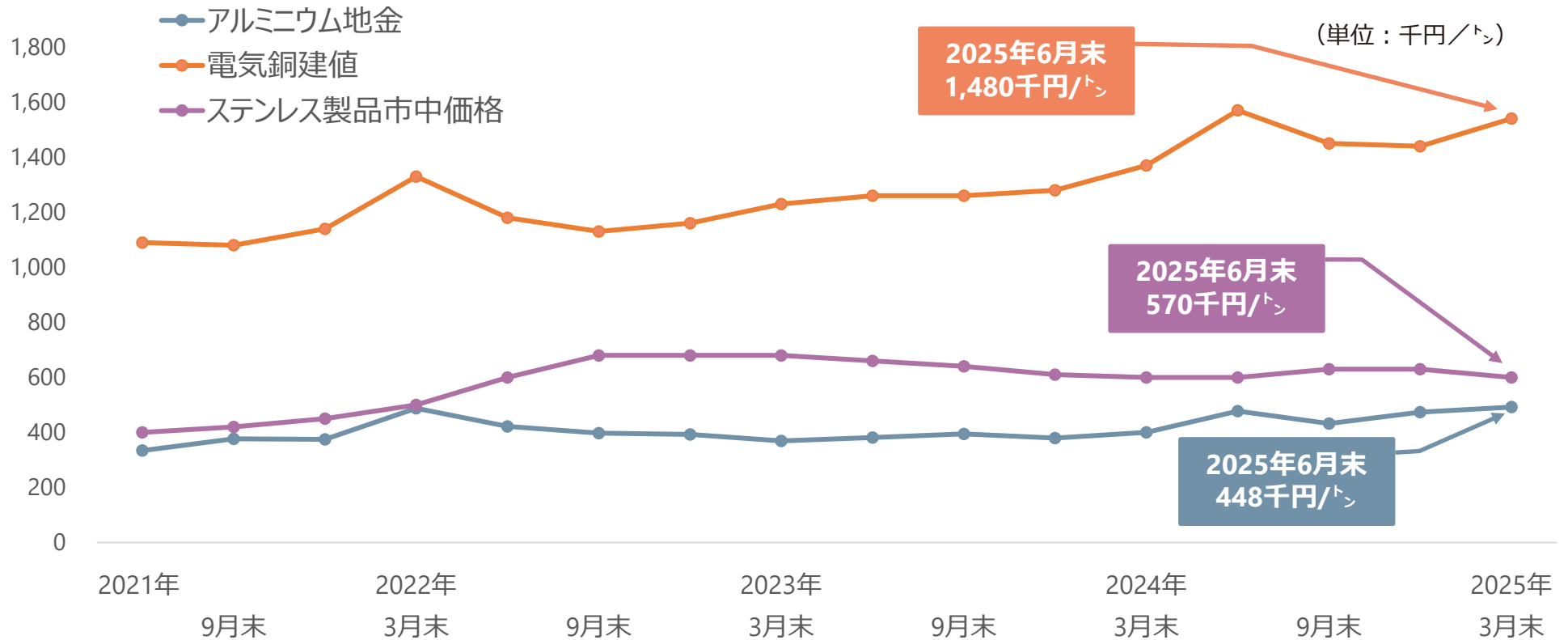
- 販売量減少に伴う買掛金の減少
- 未払法人税等増加

固定負債 △1百万円

純資産 △498百万円

事業環境（1）アルミニウム・銅・ステンレスの原材料市況

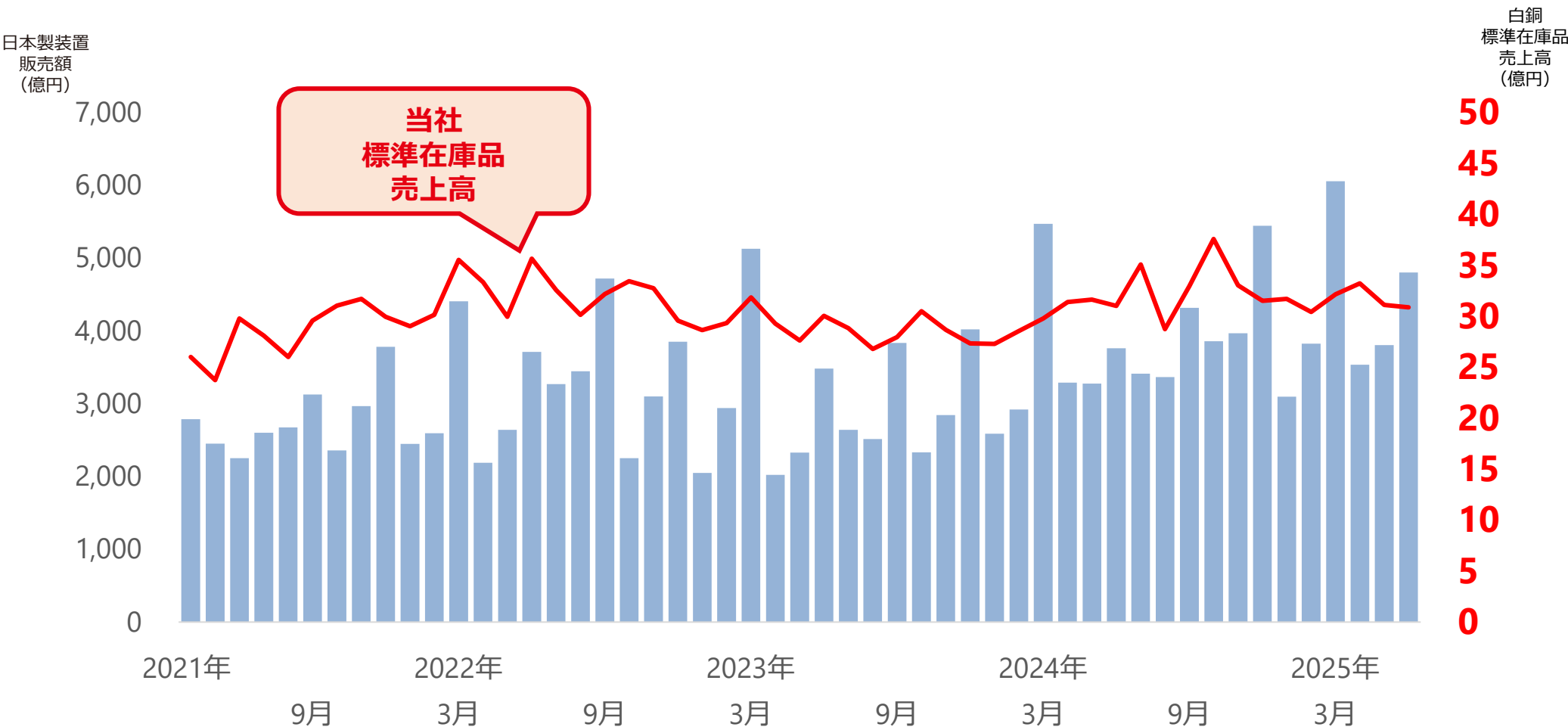
- 原材料市況は、足元では激しく変動。
- 直近変動幅の大きい為替相場と併せて、引き続き動向を注視する。



電気銅建値：JX金属による算出 ステンレス鋼板：鉄鋼新聞月別中心値
アルミニウム地金：日本経済新聞月別平均値

事業環境（２） 半導体製造装置販売額と標準在庫品売上高との比較

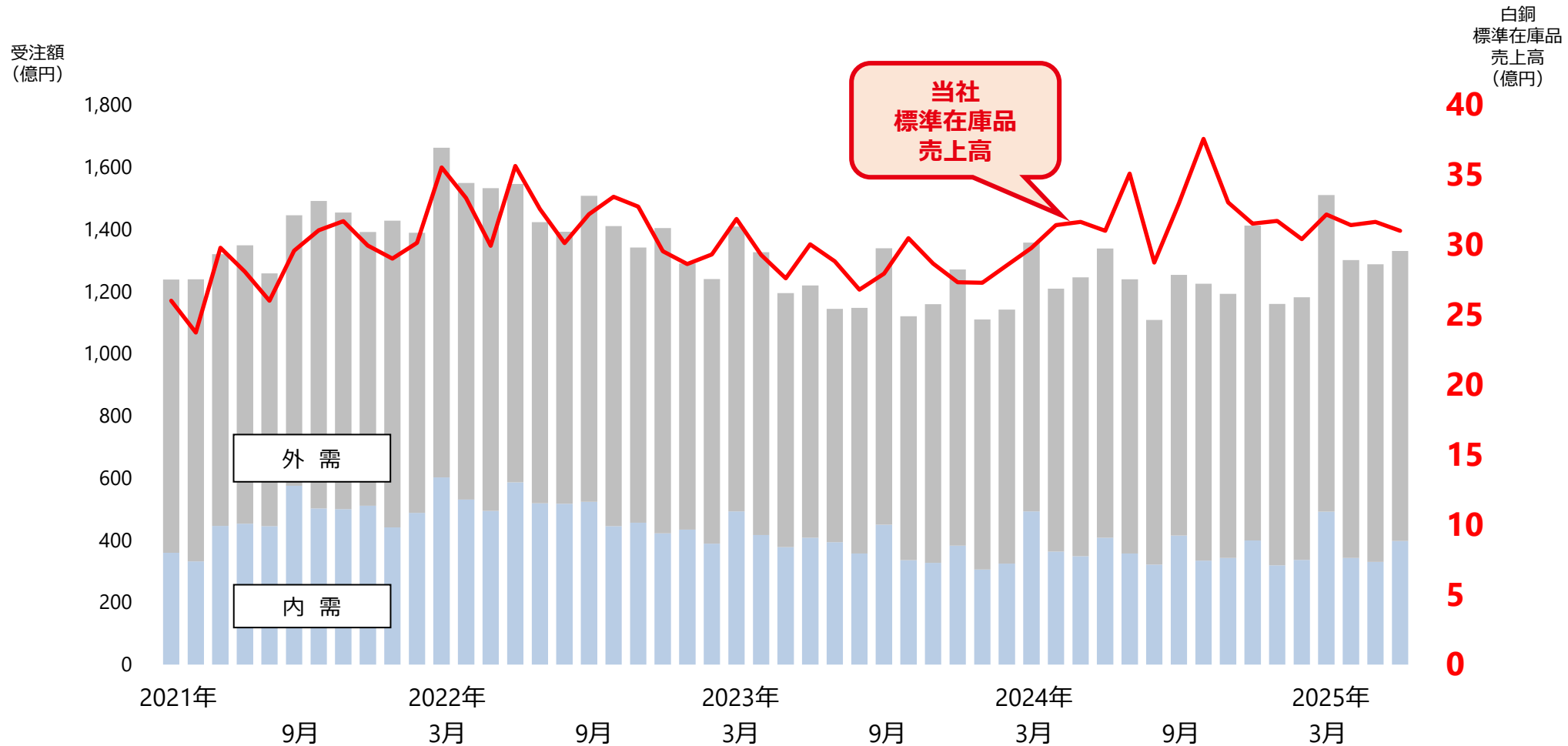
- 生成AI向けについては引き続き堅調な動きが見られたが、中国市場向けの需要に一服感が出てきたこと、ならびにメモリ需要などの低迷により本格的な回復には至っていない。



出典：日本半導体製造装置協会 統計データ

事業環境（3） 工作機械受注額と標準在庫品売上高との比較

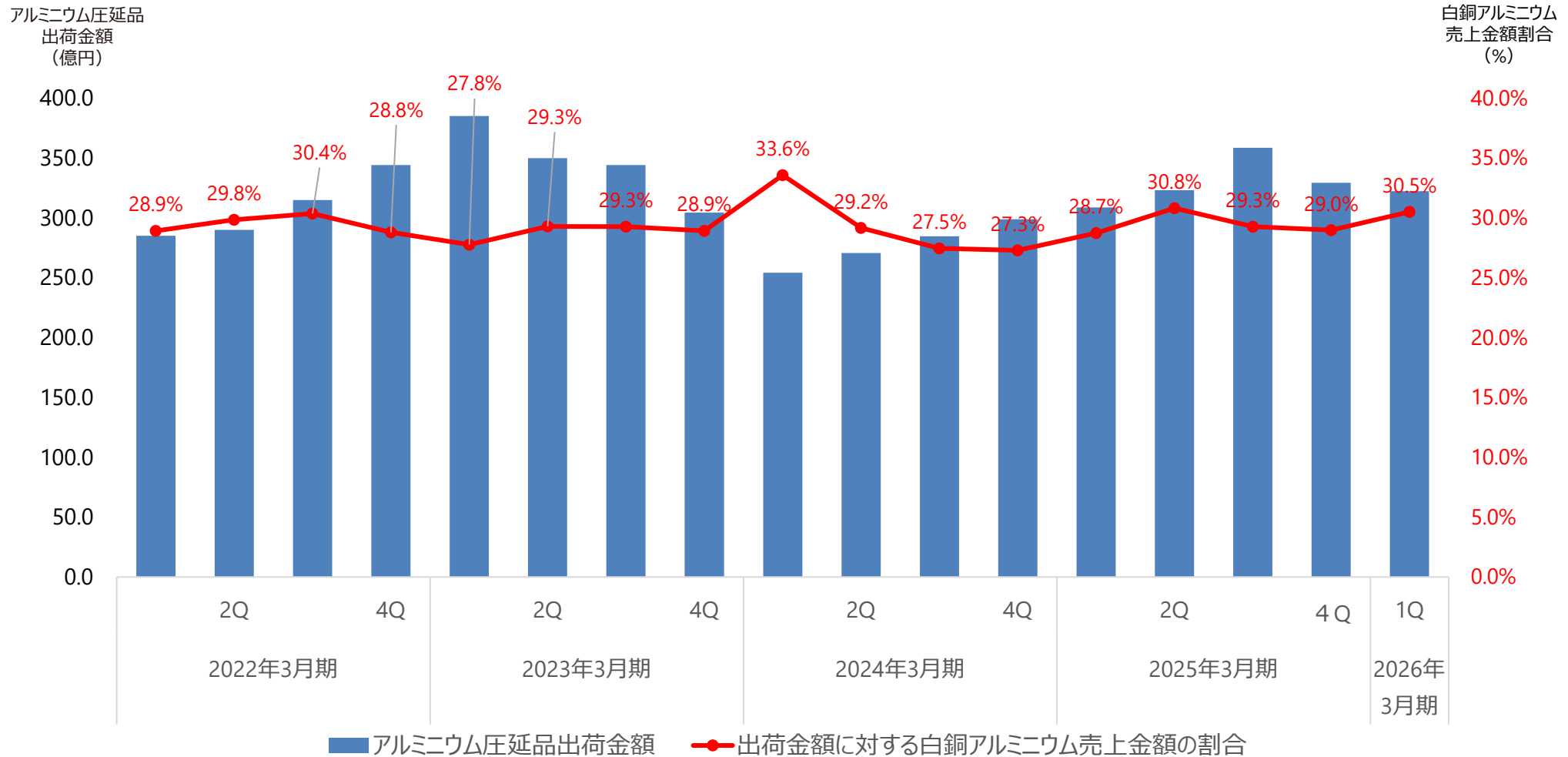
- 受注額は前年1Q期間(4~6月)比で内需4.4%減少、外需6.5%増加。



出典：日本工作機械工業会 工作機械統計

事業環境（４） アルミ圧延品出荷金額と出荷金額に対する当社アルミニウム製品売上割合

- アルミ圧延品出荷金額に対する当社アルミニウム製品売上は、引き続き30%前後で推移。



※ アルミニウム圧延品出荷金額は、板材(6.0mm以上)・円板・管・棒の合計

出典：一般社団法人 アルミニウム協会 アルミニウム圧延品統計月報より

2. 2026年3月期 業績予想

2026年3月期 業績予想の下方修正

- 半導体製造装置業界の需要低迷を主因として業績が期初予想を下回った。
- 生成AI関連以外の需要回復の遅れなどにより設備投資計画の見直しもされていることから、市場全体の本格的な回復には時間を要する見通し。

(単位：百万円)

以上のことから、中間期および通期業績予想の下方修正を実施。

	2026年3月期 中間期 前回発表予想	2026年3月期 中間期 今回修正予想	増減率	(ご参考) 前期実績	2026年3月期 通期 前回発表予想	2026年3月期 通期 今回修正予想	増減率	(ご参考) 前期実績
売上高	36,500	32,300	△11.5%	32,488	75,800	67,200	△11.3%	66,410
営業利益	1,580	930	△41.1%	1,570	3,230	2,450	△24.1%	2,983
経常利益	1,780	1,030	△42.1%	1,777	3,500	2,580	△26.3%	3,214
親会社株主に帰属する 当期(中間) 純利益	1,200	660	△45.0%	1,223	2,350	1,690	△28.1%	2,236

※原材料市況の予測は直近の不安定な状況を鑑み予想数値に織り込んでおりません。

株主還元策（配当実績と予想）

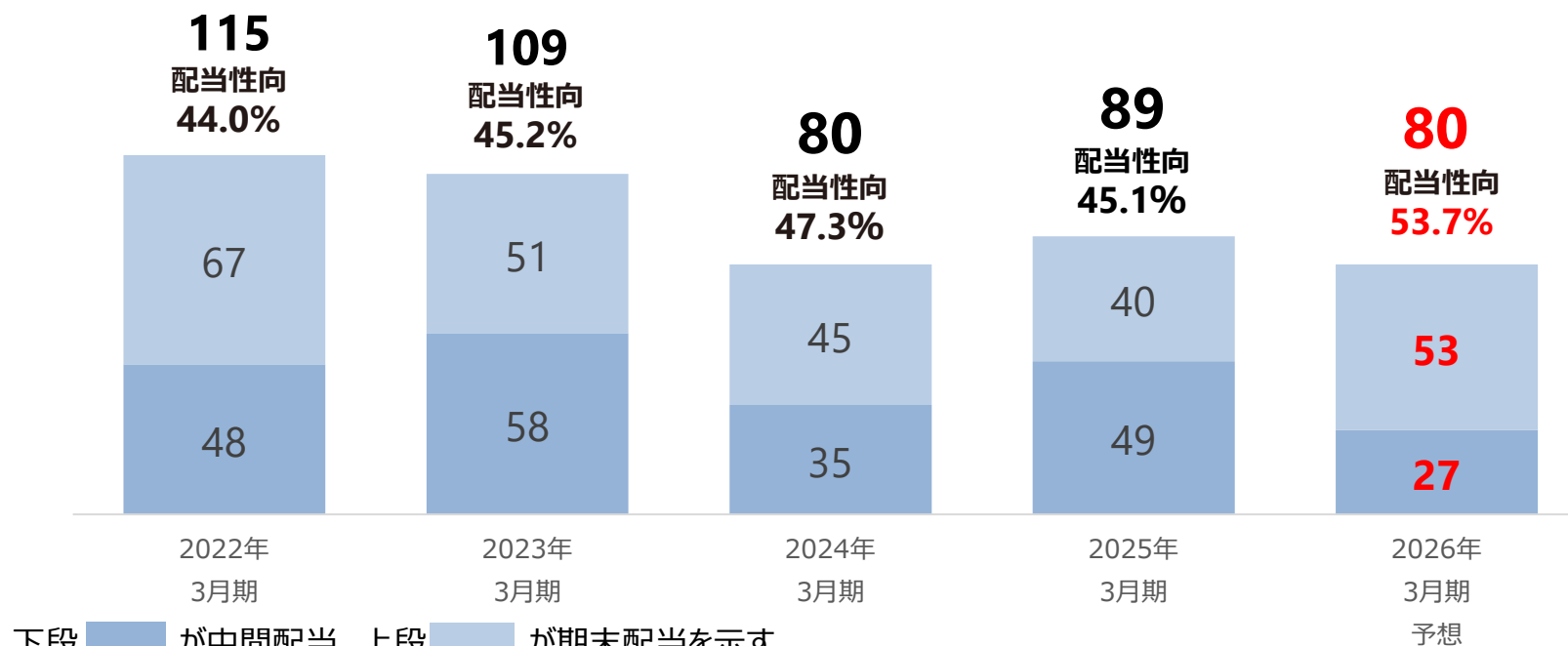
- 中間期および通期業績下方修正を踏まえ、中間配当は期初予想の1株あたり48円から21円減配の27円、年間配当は期初予想の1株あたり94円から14円減配の80円に変更。

2026年3月期 配当予想

配当方針

・通期配当性向45%以上
・年間最低配当額80円
原則、いずれか高い金額を配当額とする。

(単位：円)



※2022年3月期は記念配当9円を含む金額

3. 重点戦略の実施状況

重点戦略の実施状況

(1) 白銅ネットサービスの進化による顧客基盤の強化・拡大と利益率の向上

当社標準在庫品
約**5,600**アイテム
+
他社在庫品(取寄せ)
約**150,000**アイテム

※2025年6月末時点

ご利用企業様数
約**15,000**社様
ご登録ユーザー様数
約**31,000**名様

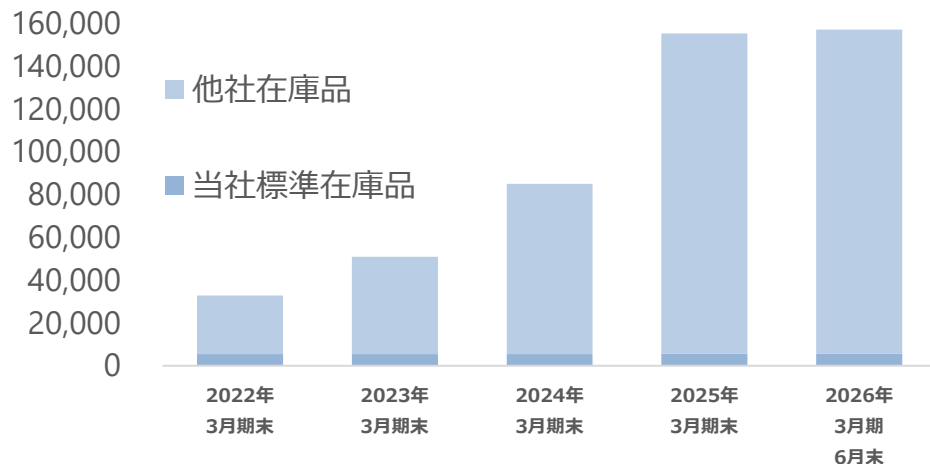
※CSネットサービスの登録件数を含む
※2025年6月末時点

画面リニューアル
& 新機能追加

使いやすさ改善と
図面加工品の
見積・注文機能強化

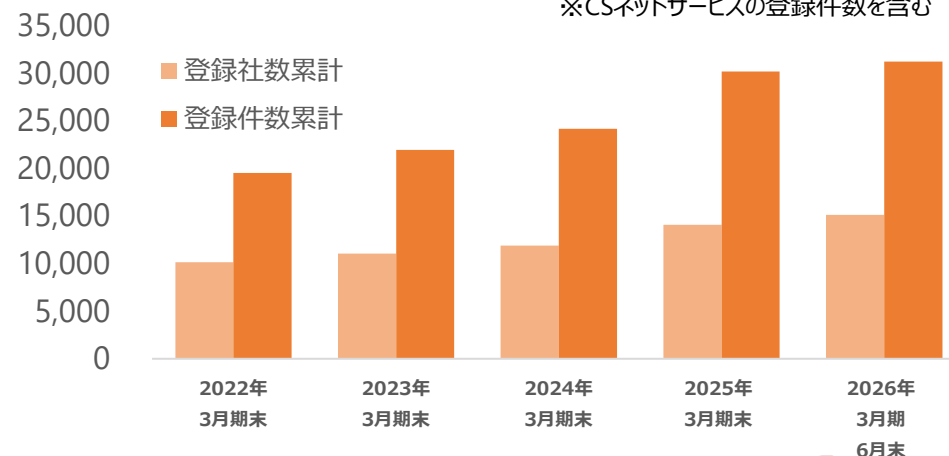


【白銅ネットサービス ご利用可能アイテム数】



【白銅ネットサービス ご利用登録社数推移（累計）】

※CSネットサービスの登録件数を含む



重点戦略の実施状況

(2) 成長領域の拡大



専門部署による業界の集約

半導体関連の販売先を専門部署に集約し、
業界ナレッジを蓄積する仕組みを構築



新規顧客獲得

金属3Dプリンターを契機に自動車関連の
新規顧客を獲得し、他商材の拡販も展開

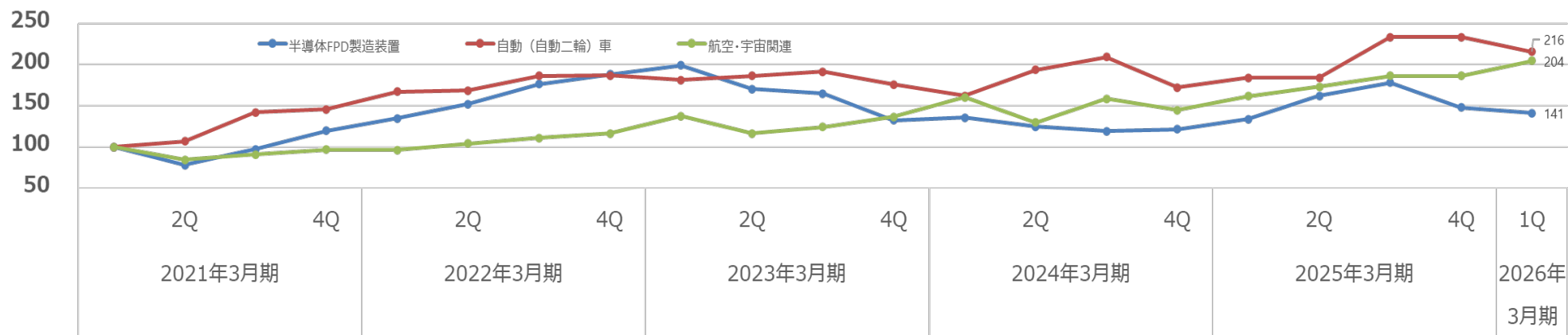


海外材輸入機能強化

WCAS社と連携し、海外メーカー製
航空宇宙規格材の輸入機能を強化

【成長領域の売上高指数の四半期推移】

※2021年3月期1Qの売上高を基準とした売上高指数の推移

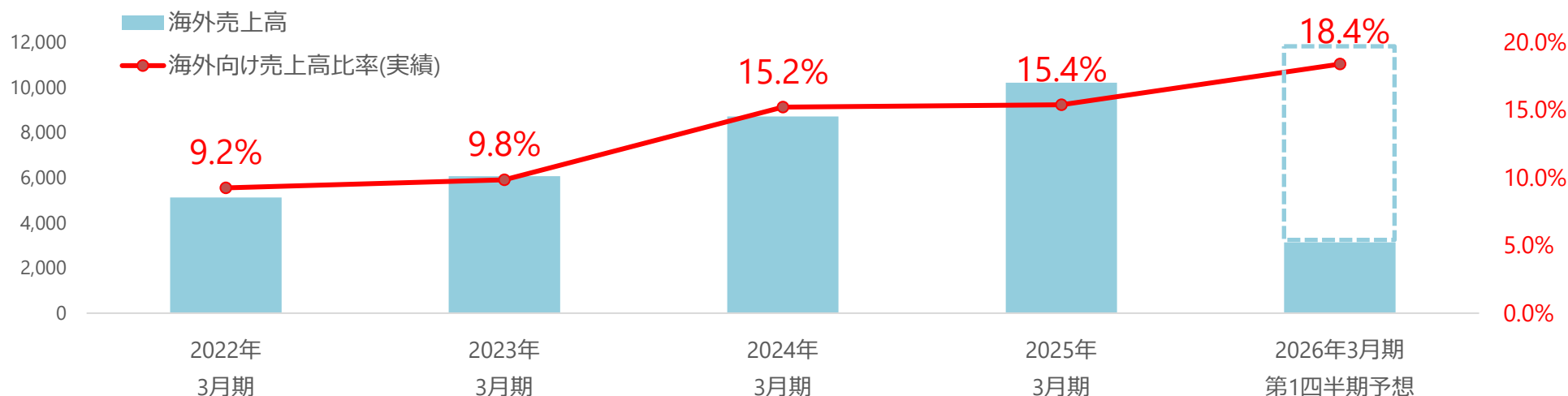


重点戦略の実施状況

(3) 海外事業の拡大

海外事業の売上高と海外売上高比率の推移

(単位：百万円)



※海外売上高は海外子会社売上高と海外子会社以外への本社輸出売上高の合計金額で算出

活動状況

◆ ECパッケージの活用

中国・米国子会社と、ベトナムの出資先でのECパッケージ導入準備中。タイ子会社は導入済み。
マレーシアやインドネシアの代理店での導入も検討中。
その他、韓国・台湾・インド・フィリピンなどにもECパッケージによる販売拡大を計画中。

◆ 事業の拡大

米国では既存の薄板販売に加え、丸棒の切断販売を推進中。
その他、韓国・台湾・インド・フィリピン等での販売を拡大予定。

重点戦略の実施状況

(3) 海外事業の拡大

West Coast Aluminum & Stainless, LLCの持分の追加取得について

当社は、2025年5月14日開催の取締役会において、連結子会社であるWest Coast Aluminum & Stainless, LLCの持分を当社グループとして追加取得することを決議し、2025年6月12日付で同社の株式を取得しました。

【取引の概要】

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

- ・結合当事企業の名称 West Coast Aluminum & Stainless, LLC
- ・事業の内容 非鉄金属加工販売

(2)理由

West Coast Aluminum & Stainless, LLCを当社グループの100%子会社とすることで、ガバナンスを強化するとともに、北米市場における競争力強化やシナジー創出を図り、当社グループの海外事業を拡大するため。

ご清聴ありがとうございました

■白銅公式SNSアカウントについて

当社では、LINE、Facebookの公式アカウントを開設し、商品紹介や展示会の出展案内などのお役立ち情報を定期的に発信しております。右記のQRコードから、是非、お友だち追加をお願いします！

■本資料における注意事項

この資料には、2025年8月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先

白銅株式会社 経営企画部
メールアドレス：hkdkeiki@hakudo.co.jp
ホームページ：www.hakudo.co.jp

